

北陸新幹線と並行在来線問題を考える



日時

2013年3月2日(土)13:30~16:30

場所

富山市「ボルファートとやま」

JR富山駅北口下車徒歩5分

入場無料

2015年3月開業予定の北陸新幹線長野～金沢間は、鉄道・運輸機構による建設工事が進んでいますが、開業と同時に信越線・北陸線の一部がJRから分離されます。

現在、自治体及びJR等が開業に向けた諸準備を行っていますが、華やかな開業効果の一方で並行在来線の「分離・第3セクター化」によって、安全性や利便性の低下や安定的な運営継続など様々な課題が明らかになっています。

在来線は、地域住民の貴重な足であると共に、日本の物流を支える貨物鉄道のルートでもあり、地域経済の活性化を図る立場からも維持・活性化が必要です。

北陸新幹線開業と並行在来線が抱える問題についてシンポジウム形式で皆さんと一緒に考えます。

基調講演

「北陸新幹線建設と並行在来線の課題について」

桜井 徹（交通権学会会長・日本大学商学部教授）

パネルディスカッション

「利用しやすく持続可能な鉄道をめざして」

コーディネーター 前田 達男氏（金沢大学名誉教授）

「並行在来線の役割と課題」

各県団体の取組紹介、各県の特徴・課題について富山県、新潟県、長野県の住民組織や研究者で討論します。